

Gikai



待ちにまつた開園
風の子保育園でのお誕生日会

※表紙説明は裏面にあります。

- 第1回・2回臨時会 … 2
- 第2回定例会 … 3
- 委員会レポート … 6
- 一般質問は12人が登壇 … 10

葉山町議会



第1回 臨時会

令和2年5月1日開催

議席の変更

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため議席の変更をした。議席間を一つずつ開けマスクを使用、本会議場ドアの常時開口と扇風機等での換気を行う。



変更になった議席

令和2年度一般会計補正 予算(第1号)

歳入

国庫支出金

- ・特別定額給付金事業補助金 (33億1132万円)
- ・新型コロナウイルスの家計への影響を緩和するため交付される。
- ・子育て世帯への臨時特別給付金給付事業補助金 (3717万円)

新型コロナウイルスの影響を受けている子育て世帯の生活支援のため交付される。

地方創生臨時交付金

(6774万円)

新型コロナウイルス対策や、感染拡大の影響を受けた地域経済・住民生活の支援に係る経費に對して交付される。

歳出

特別定額給付金給付事業

(33億1132万円)

1人10万円

主な質疑

問 本当に困った人たちに、早めに町のお金から振り込む形ができるのか。

答 対象の人口、世帯数を鑑み、システム改修をして世帯に對する郵送物を一律に組んだ。

ひとり親世帯臨時特別給付金 給付事業 (241万円)

新型コロナウイルスの影響を受けているひとり親世帯の生活支援のため給付金を支給する。
対象者1人2万円(1回目)

商工活動等支援事業

(5200万円)

- ・葉山町持続化給付金及び支給事務経費

新型コロナウイルスの影響で売り上げが減少(20%以上)した事業者1者につき10万円の給付金を支給する。(1回目)

主な質疑

問 国、県などいろいろな補助があつて、どこに相談したら良いのか、細かい制度設計は。

答 国制度の通知に基づいて準用する。国の給付制度は50%の売上減。町独自の給付制度は、商工会と話し合った上20%にした。

問 2019年3月以降に開店のお店も対象か。

答 対象となる。

小中学校教育振興事業

(30万円)

令和元年度町立小中学校卒業式の映像記録用DVDを購入入。

事務局管理事業 (257万円)

卒業式のDVDの郵送費。

学校給食推進事業 (75万円)

新型コロナウイルス対策として学校給食会が実施する、給食施設を活用した学童クラブ利用児童への昼食提供業務に對して補助金を支払う。

主な質疑

問 100円を取らずに無償にできないのか。

答 制度設計上、学童に通っていない子どももいる。全体を見た上で多寡ではない金額を取る制度が良いと判断した。

在宅高齢者福祉サービス事業 (147万円)

外出自粛している高齢者に對して健康維持に関する情報を提供し、健康相談を行う。
・印刷製本費等(貯筋運動パンフレット等)

防災資機材備蓄食糧整備事業 (799万円)

- ・消耗品費(マスク、個人防護用具、体温計、次亜塩素酸水配布用タンク等)
- ・備品購入費(組立式洋式便所、簡易間仕切りセット)

主な質疑

問 大人用と子ども用のマスクを購入したのか。

答 特にサイズを想定していない。

賛成討論

(近藤)



残念ながら葉山町の独自の一般財源は49万円しかなかった。地方創生交付金というところで自由に使える予算がある。さまざまな政策を町として組んだことは評価できる。



災害用仮設トイレと間仕切り

第2回
臨時会
令和2年5月29日開催

葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

減額。
葉山町特別職の期末手当の

町長20% 副町長15% 教育長10% 計93万円

主な質疑

問 身を削った財源の政策の使い道は何か。

答 新型コロナウイルスの影響は長期に渡ると考える。9月、12月議会にも政策を提案する。今後必要となれば行政職全体でも議論していく考えだ。

葉山町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

葉山町議会の議員の期末手当の減額。
全議員10% 計156万円

第2回
定例会

6月3日から6月18日まで開催し、
令和2年度補正予算、条例改正等の
審議を行いました。

令和2年度葉山町一般会計補正予算(第2号)

歳入

国庫補助金(1985万円)

地方創生臨時交付金

新型コロナウイルス感染症対策、感染拡大の影響を受けた経済・住民生活の支援に係る経費へ交付される。

衛生費寄付金

(100万円)

新型コロナウイルス感染症対策事業への寄付金。

財政調整基金繰入金

(9800万円)

財源調整のための繰入金の増額。

主な質疑

問 基金に関し、町はコロナ対策における教育支援の寄附を募っているが、現教育基金は給食センター経費に充

てるために設立されたものだ。新たに教育のための基金を設立するべきでは。

答 既にある基金を受け皿にして対応したい。

総務費雑入

全国町村会総合賠償補償保険金(3237万円)

平成28年12月13日に葉山保育園内で発生した死亡事案の和解に伴う損害賠償金及び弁護士報酬に係る保険金。

歳出

ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業(345万円)

2回目。1世帯2万円・所得制限なし。

主な質疑

問 少しでも早い支給のため、申請なしで支給できないか。

答 申請は必要だが、スムーズな処理に努めたい。

商工活動等支援事業

(5053万円)

葉山町持続化給付金及び支給事務経費。

2回目。対象月は、令和2年5月から8月分。

主な質疑

問 海の家の事業者も対象となるか。

答 継続した営業が条件であり、対象とならない。

問 申請手続きは商工会だが、役場でも相談できることを周知すべき。

答 町でも十分相談を受けている。

問 雑所得の扱い、フリーランスへの対応は。

答 雑所得の判定は、国判断を待ちたい。フリーランスは対象である。

給食施設運営事業(792万円)

臨時休校による夏休み短縮に備え、環境整備として給食室に空調を設置する。

主な質疑

問 3年前、議会が空調設置を提案した時には、設置できないということだったが。

答 設置できる。

学校給食推進事業

(5616万円)

新型コロナウイルス感染症対策として、保護者の負担軽減のため12月までの学校給食の無償提供を行う。

主な質疑

問 中学校のミルク給食も無償化の対象とすべきでは。

答 選択制であり、不公平感も生まれるため対象外とした。

問 年度内無償化の考えは。

答 影響が読み切れないため、一旦、年内とした。状況を見て再検討する。

葉山町営住宅条例の一部を改正する条例

民法の改正等に伴い、所要の改正を行うもの。

主な質疑

問 国は、保証人に関する規定を削除した。連帯保証人を止めるべきだ。

答 研究する時間をいただきたい。

令和元年度葉山町繰越明
許費繰越計算書（一般会
計）

主な質疑

問 未使用のプレミアム商品券合計17万6千円分を、未使用者に返金すべきではないか。

答 懸念されたことだが、返金できない。今後に生かしたい。

問 臨御橋の夏のシーズンの安全対策は。

答 欄干の点検、進入防止柵を再設置し、最低限、通行できるようにしたい。

安全で快適な葉山の海浜
の確保に関する条例

海水浴場を設置しない葉山の海浜について、安全で快適な海浜を確保するために必要な事項（町・利用者の責務、ルール周知等。令和2年7月1日施行8月31日限り）を定めるもの。（総務建設常任委員会審査し、本会議で決定）

委員会審査及び結果

委員から「現在示されているルール案が令和元年度より後退していることから、現状では賛同できない」という意見と「ルールが後退している感はあるが、まずは条例を制定することが大切である」「海水浴場が開設されないからこそ、普段でも守れるようなルールであるべき」「担当課より、本会議までにルール案を確定したいとしており、現場目線で作られるルールには賛同したい」との意見で、採決の結果、賛成多数により可決しました。

本会議での主な質疑

問 海浜利用ルールの成案が出されていない。ルール案で条例の判断をすれば良いか。

委員長 ルールの修正は出されていないと認識している。

問 ルール案が、令和元年度より後退しているという部分はどこか。

委員長 入れ墨・タトゥー露出の禁止と飲酒関連という認識だ。

安全で快適な葉山の海浜
の確保に関する条例に対
する修正案（議員提案）

提案議員による提案説明
（近藤）



海浜利用ルールを白紙委任しないため、入れ墨・タトゥー露出の禁止と飲酒の制限を条例に盛り込むため。

提案者への主な質疑

問 議会軽視というが、海水浴場の運営等に関する協議会設置時、構成員に議員参加を求められたが、議会は拒否した経緯があるが。

答 議会にはさまざまな意見があり、意思をまとめることは難しく、代表者を出さないこととした。議案として提案し、意見を反映することが最適と考える。

問 逗子市の条例では「入れ墨、類する外見」となっており、タトゥーという具体的な名称はない。スポーツ選手やファッション的なものもあり条例化には抵抗がある。すべ

て禁止ということか。

答 令和元年度のルール部分を引用した。

修正案に対する反対討論
（中村・土佐・伊藤）



・自治体によって差が出ないよう海岸の管理者である県が、管理条例を定めるなどして解決すべき問題だ。

・海水浴場開設時の条例として、利用者、事業者、行政が協働で葉山らしい形をつくってきた。修正案の飲酒や入れ墨に関する規定に疑問を感じる。

・タトゥーや入れ墨が畏怖させるというのは偏見だ。個性を認める社会、葉山の海が誰からも尊重される海であって欲しい。

修正案に対する賛成討論
（窪田）



逗子市や鎌倉市は条例で飲酒を規制するなどしている。町は、ルールを海岸組合等が決めることとしているだけで

なく、規制も緩いものになっている。町のルールは、最終的に町民の代表である町長と議会が条例で定めるべきだ。



海のルール看板

葉山町学校給食センター
整備計画 見直しについて
の陳情書

新型コロナウイルス感染の世界的な蔓延による歳入の減少、町の財務見直しは不可欠です。土砂災害警戒特別区域の造成工事は、民間企業の土地提供者が実施するものであり、務めを果たせるのか不明です。今こそ原点に立ち戻り、葉山町にあった学校給食のあり方の見直しを求めているものです。（教育民生常任委員会で審査し、本会議で決定）

委員会審査及び結果

委員から「供用開始が延期されている状況では、すでに見直して考えざるを得ない」「センター方式以外の方法を今こそ模索すべき」との意見と「不測の事態は理解するものの原点に立ち戻って考えるべきとの願意には賛同できない」「既に議決を経て進めている事業である」との意見に分かれ、採決の結果、可否同数で委員長裁決により不採択としました。なお、委員の総意として「学校給食センター整備計画について」を所管事務調査していきます。

本会議での主な質疑

問 委員会内で、陳情者の意見を聞きたいと継続審議の動議が出たが、委員長判断で継続なしとした理由は。

委員長 定例会に提出された陳情等は、会期中に判断を示すのが基本だ。

陳情に対する賛成討論

(山田・飯山・金崎・窪田)



・新型コロナウイルスの影響は税込減どころか、緊急支出増に繋がりがねず、緊急事態だ。

・中学校給食を、令和4年に開始できる計画を早急に考えるべき。

・激甚化する自然災害に対応するため都市計画法等が改正された。災害特別警戒区域を外すスケジュールも未だ出されていない。

陳情に対する反対討論

(石岡)



・候補地に、不安の声があることは承知しているが、給食センター早期実現を望む声も多い。多くの費用と時間をかけてきた事業であり、原点回帰には賛同できない。

令和2年度葉山町一般会計補正予算(第3号)

歳入

国庫補助金

・児童福祉費補助金

(668万円)

・中学校費補助金 (837万円)

民生費県補助金 (274万円)

財政調整基金繰入金

(3000万円)

歳出

職員給与費他 (△254万円)

令和2年6月支給の期末手当を減額。

(町長△20%、副町長△15%、教育長△10%、議員△10%)

議会(議員)活動事業

(△160万円)

行政視察を取りやめることによる減額。

放課後児童健全育成事業

(952万円)

小学校の臨時休業に伴う放課後児童クラブの特別開所や利用減免、備品購入等の経費に対する補助。

主な質疑

問 6事業所に対し、特別開所補助は5カ所。人材が集まらず開所できなかったのか。
答 感染防止のため、営業しなかった。

教育・保育給付支給事業

認可保育所補助金

・感染対策にかかる備品購入費に対する補助(243万円)
・認可外保育施設保育料支援事業補助金 (20万円)

・臨時休園により保護者に返還する保育料に対する補助(1施設10万円、2カ月まで)

主な質疑

問 認可保育所には、感染予防備品購入費の国補助金があるが、認可外保育所にはない。

答 町として補助を行うべきではない。
答 県補助があると聞く。対応の必要性の観点を含め情報収集し、対応を図りたい。

葉山町通学支援事業

(2914万円)

保護者の負担軽減を図るため、町外への通学費に対する補助。(小学生から大学生等の公公共交通機関及び駐輪場の定期代1年分、補助率 $\frac{1}{2}$ 、上限1万5千円)

主な質疑

問 町外通学者が対象だが、上山口小ではバス利用児童も

いる。町内中学生の補助率は $\frac{1}{4}$ 。不平等感があるが。

答 町内小学生は徒歩圏内で、中学生には通学費補助を行っている。現要綱案で進める。

問 定期券購入すれば上限の1万5千円になる。さまざまな手間も省け、一律補助を検討しては。

答 公平性を考え、手間はかかるが、確認の上、多くの方に支払いたい。

中学校情報教育推進事業

(1506万円)

中学3年生のGIGAスクール用機器調達経費。

主な質疑

問 なぜ持ち運び可能なルーターにしたのか。

答 家庭用の他、学校内のLAN整備中の使用も想定している。置き型は国補助対象とならない。



導入端末イメージ

※用語の説明は、19ページをご覧ください

皆さまから寄せられた **請願・陳情** の審査さまざまな、町の **問題・課題** の改善、対策

委員会レポート

各委員会では、それぞれ課題やテーマを掲げ調査・研究にも取り組んでいます。Committee report



総務建設

地方財政の充実・強化を
求める陳情

2021年度政府予算と地方財政の検討における、地方財政の充実・強化に向け、国に対し意見書を提出すること
を求めているものです。

審査結果

審査では「陳情の趣旨は妥当であり採択すべきである」との意見でまとなり、採決の結果、全会一致により採択し、国に対し意見書を提出することとしました。なお、意見書の提出にあたっては、森林環境譲与税の贈与基準に関して、本町の自然環境を勘案し山林面積についても配慮すべきと意見を加えることとしました。

委員長 飯山直樹



国会議事堂

教育民生

教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元をはかるための2021年度政府予算についての請願書

2021年度政府予算編成において、

・子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。

・義務教育費国庫負担制度を堅持し、国負担割合を2分の1に復元すること。

以上2点について実現するよう、国に対し意見書を提出することを求めているものです。

審査結果

委員の総意として「毎年意見書を提出しているが、少人数級を実現していくための基準に変化はなく、三位一体改革で義務教育費国庫負担が2分の1から3分の1に引き下げられたことにより、都道府県、自治体間で教育格差が広がっている。本請願を採択し、国に対し意見書を提出すべきである」との意見でまと

まり、全会一致により採択し、国に対し意見書を提出することとしました。

別居・離婚後の「面会交流」という表現を「親子交流」へ名称変更することを求める意見書の提出を求める陳情

国連の子ども権利委員会では「養育権」や「面会権」という用語を「共に暮らすこと」「交流を保つこと」に変更するよう提唱している。従って、子どもにも理解できるように「親子交流」へ名称変更するよう国に対し意見書を提出することを求めているものです。

審査結果

委員から「面会という言葉には、こだわりがあるが、名称変更には時期尚早であり、より議論が深まるが必要だ」との反対意見でまとなり、不採択としました。



新型コロナウイルス感染症拡大に際し第一線の医療提供体制堅持を求めることに
関する陳情書

地域住民のセーフティネットである第一線の医療提供体制の医療崩壊を起こさないよう緊急経済対策として計上された「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」募金等の活用で支援策を創設をし、医療機関への支援策を充実し迅速に対応することを求めているものです。

審査結果

委員から「医療機関の存続は、町民の健康を守る意味において、また、学校医という大切な役割を担っているため、その医療体制の堅持は、大変重要で陳情の趣旨には同意するが、その支援策は国や県が担うべきことで医療機関であっても一般の事業所と同じように扱うべきで趣旨了承ではないのか」との意見でまとなり、趣旨了承としました。



学校教育における新型コロナウイルス感染症対策充実に向けた財政支援の拡充に関する陳情書

・子どものいのちと心のケアを含む心身の健康保持及びゆたかな学びの保障に向け、きめ細やかな支援や配慮のための人的配置を拡充すること。

・いかなる状況の中でも学びの継続を保障するため、必要な環境整備を国の財源ですみやかに行うこと。以上2点について実現するよう、国に対し意見書を提出することを求めているものです。

審査結果

委員から「コロナに対処しながら学びをしっかりと保障するとともに、子どもや保護者の心のケアに対する人的支援を求める陳情内容は妥当であり国の予算で行うべきである」との意見でまとなり、採択し、国に対し意見書を提出しました。



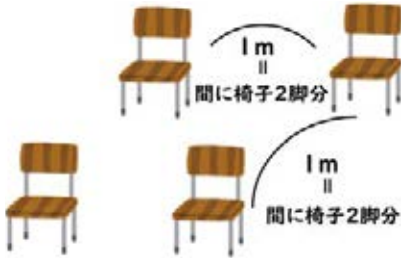
学校へのICT環境整備に国が予算措置をしたので、葉山町も早急に申請を行うことを求める陳情書

新型コロナウイルス臨時補正予算の一環としての「GIGAスクール構想」に申請することで、早急なICT環境の整備ができるよう求めているものです。

審査結果

担当課からの説明で「GIGAスクール構想の補助金申請関係の手続きが済んでいること、今後のICT環境の整備予定の確認もとれていることから、陳情の願意は達成されていると判断し、採択すべきである」との意見でまとなり、全会一致により採択すべきものとなりました。

委員長 鈴木道子



議会広報

議会の仕組みを広く町民の方にご理解いただけるよう、議会白書（概要）のようなのをまとめ、ホームページに掲載することを決定しました。

委員長 石岡実成



議会運営

議会改革

検討項目29件の残り6件について協議し「予算・決算特別委員会を全員で構成する」「総括質問のあり方の検討」「予算・決算定例会の会期日程の変更」の3件については提案議員がそれぞれ異なりますが、関連する項目であり一括で協議を続けてきました。審査時間の効率性な使い方や議会審査の重要性、現状の会派制の課題など多くの検討課題が含まれ最終的に合意でき

ず検討の終了としました。

また「本会議での議員は発言に対し、他の議員から質問できるようにする」「議長任期を4年とする申合せの検討」についての2件は、将来的な検討課題として残すこととなりました。

「議会基本条例の評価及び検証」については、先進自治体の取り組み状況の視察を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響もあり令和2年度の視察は中止となりましたが、ITの活用や講師を招いての研究会案も出され早急な検討が必要となりました。

委員長 笠原俊一

総合計画特別

第四次葉山町総合計画後期基本計画の策定

担当課から、すでに実施された町民アンケートの回収率や基本理念1及び2に関する総合計画審議会での意見など、提出資料を基に説明を受けた後に、各委員から質疑や要望・意見が多数寄せられました。

委員長 待寺真司

ICT化推進チーム

議会改革

議場の音響と映像設備については、機器の寿命から入替え時期であるので、新型コロナウイルスによる財政への影響を考慮に入れ、今後の状況を慎重に見極め対応することとした。

※Word互換アプリケーション

初期インストール済みアプリケーションであるPagesによりWordの編集作業が可能と判明したので、全議員へ使い方のデモンストレーションを行うこととした。

※moreNOTEのレイアウト変更

議会用アプリケーションであるmoreNOTEのフォルダー画面が近々アップデートされるとのこと、全議員へ周知しました。

リーダー 飯山直樹

※用語の説明は、19ページをご覧ください

令和2年第1回臨時会 表決結果

全会一致の議案等		結果	関連記事
議案第1号	令和2年度葉山町一般会計補正予算（第1号）	可決	P 2
議案第2号	令和2年度葉山町下水道事業会計補正予算（第1号）	可決	—
議案第3号	葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	—
議案第4号	専決処分の承認について（葉山町介護保険条例の一部を改正する条例）	承認	—

令和2年第2回臨時会 表決結果

全会一致の議案等		結果	関連記事
議案第5号	葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	P 3
議会議案第2-3号	葉山町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	P 3

意見書を提出しました



地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体には、医療・介護など社会保障への対応、子育て支援策の充実、地域交通の維持・確保など、より多く、またより複雑化した行政需要への対応が求められているが、現実に公的サービスを担う人材不足は深刻化している。

2021年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すことが必要であると、国においては、更なる地方財政の充実・強化を要望する。



教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元を求める意見書

子どもたちが全国どこに住んでいても一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、国はその実現を保障すべきである。

よって、2021年度政府予算編成において、次の事項を実現することを強く要望する。

1. 計画的な教職員定数改善を推進すること。
2. 義務教育費国庫負担制度を堅持し、国負担割合を2分の1に復元すること。



学校教育における新型コロナウイルス感染症対策の充実に向けた財政支援の拡充を求める意見書

新型コロナウイルス感染予防のため休校していた学校の再開後は、感染予防対策を講じながら子ども一人ひとりに今まで以上に寄り添うきめ細やかな指導が必要である。よって国において、次の事項について実現するよう強く要望する。

1. 教職員の人的配置を拡充すること。
2. 必要な環境整備を国の財源ですみやかに行うこと。



夏季の葉山町内の各海岸の安全確保と新型コロナウイルス感染症対策を求める意見書

葉山町は、新型コロナ対策として、夏季期間について海水浴場の不設置を決めた。このままでは海でのルールもなくなり、無法地帯になるおそれもある。

県は、海岸管理者であり、遊泳も含めて安全確保を図るべき立場でありながら遊泳監視業務や警備体制を地元自治体任せとなっている。

よって、葉山町議会は、県の責任のもとで速やかに県内海岸の安全確保を目指し、警備体制などの予算確保も行い、地元自治体への財政支援を行うことを強く求めるものである。

地方自治法第99条の規定により、国または関係行政庁へ送付しました。

※紙面の都合上要約しています。

令和2年第2回定例会 表決結果

議案・陳情		議員氏名（議席順）											飯山直樹	中村和雄	伊藤航平	山田由美	石岡実成	金崎ひさ	鈴木道子	荒井直彦	笠原俊一	土佐洋子	窪田美樹	近藤昇一	待寺真司	伊東圭介	結果	関連記事
議案第22号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長代理	除斥	同意	－											
議案第24号	安全で快適な葉山の海浜の確保に関する条例 （上 / 修正案 下 / 原案）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	◎	×	－	修正否決	P4											
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	－	可決	P4												
陳情第2-5号	葉山町学校給食センター整備計画見直しについての陳情書	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×	－	不採択	P4											

○は賛成 ×は反対 ◎は提案者

※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決めます。

※「除斥」とは、審議の公正を期すために利害関係を有する議員は、当該事件の審議に参加することができないとする制度です。

全 会 一 致 の 議 案 等		結果	関連記事
議案第6号	令和2年度葉山町一般会計補正予算（第2号）	可決	P 3
議案第7号	葉山町税条例の一部を改正する条例	可決	—
議案第8号	葉山町手数料条例の一部を改正する条例	可決	—
議案第9号	葉山町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	—
議案第10号	葉山町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	—
議案第11号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	—
議案第12号	葉山町国民健康保険条例及び葉山町介護保険条例の一部を改正する条例	可決	—
議案第13号	葉山町営住宅条例の一部を改正する条例	可決	P 3
議案第14号～21号	農業委員会委員の任命について	同意	—
議案第23号	令和2年度葉山町一般会計補正予算（第3号）	可決	P 5
議案第25号	財産の取得について（塵芥収集車1台）	可決	—
議会議案第2-4号	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	P 8
議会議案第2-5号	教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元を求める意見書	可決	P 8
議会議案第2-6号	学校教育における新型コロナウイルス感染症対策の充実に向けた財政支援の拡充を求める意見書	可決	P 8
議会議案第2-7号	夏季の葉山町内の各海岸の安全確保と新型コロナウイルス感染症対策を求める意見書	可決	P 8
請願第2-1号	教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元をはかるための2021年度政府予算についての請願書	採択	P 6
陳情第2-2号	別居・離婚後の「面会交流」という表現を「親子交流」へ名称変更することを求める意見書の提出を求める陳情	不採択	P 6
陳情第2-3号	新型コロナウイルス感染症拡大に際し第一線の医療提供体制堅持を求めることに関する陳情書	趣旨 了承	P 6
陳情第2-4号	学校教育における新型コロナウイルス感染症対策充実に向けた財政支援の拡充に関する陳情書	採択	P 7
陳情第2-6号	地方財政の充実・強化を求める陳情	採択	P 6
陳情第2-7号	学校へのICT環境整備に国が予算措置をしましたので、葉山町も早急に申請を行うことを求める陳情書	採択	P 7

今回は、12人の議員がそれぞれの想いで挑みました!!



質問

各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取りますと
議会本会議での一般質問の動画を観ることが出来ます。
また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。



葉山町議会



教育長

令和2年度内に全学年分の
整備をする

GIGAスクール構想の実施

問 整備実施のスケジュールについて伺う。

教育長 中学3年生分を先行して整備する。

小学校1年生から中学校2年生までの端末、
及び各学校の校内LANの整備については、
9月補正予算での対応を予定している。

学校卒業時の会計処理

問 中学校卒業時の各家庭の金融口座の会計
処理について伺う。

教育長 徴収費用の余剰金は返金額をデータ
化し郵便局が振り込み処理を行う。例年、卒

GIGA
スクール構想の
実施スケジュールは

鈴木道子



教育部長

状況を見て再検討できる

就学援助対象の
目立つ広報が
大事だが

窪田美樹



問 就学援助等、教育支援申請への対応は。

部長 要項では、収入の不安定等により生活
状況の悪化も対象としており、コロナも含め
いろいろな事象も踏まえて考えられる内容だ。

問 コロナの影響で収入が減った方も就学援
助対象となることの、目立つ広報が大事だが。

部長 申請期間は延ばしている。問い合わせ
状況を見て再検討はできる。

問 12月までの給食費が無償化になり、就学
援助費に含まれない。就学援助予算を不用額
とするのではなく、国の補助項目にあるが対
象にしない卒業アルバム代等に運用を。

町長・教育委員会部局とのガチンコ勝負!!

町政を問う



一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。1人あたりの持ち時間は答弁を含め60分です。

掲載している内容は、質問者自身が原稿作成をし広報常任委員会が編集校正したものです。全文は、議会ホームページのほか、議会事務局でもご覧頂けます。

一般



葉山町の中学生

部長 逗葉医師会と情報共有・連絡調整する。
その他の質問 乳幼児予防接種

問 唾液によるPCR検査が可能です。

新型コロナウイルス対策

問 タクシー券交付事業は、施設への付き添い家族送迎時の利用も対象にすべきだが。
部長 施設に本人を迎えに行く時、ひとつのグループを同じタクシーがした場合、町のタクシー券の使用は可能と思う。

障害者支援

部長 校長会等でしっかり話をする。

問 振り込みが1年以上遅れている上、保護者に対し、何の通知もない状況だが、どうか。
部長 データが破損しており、手作業での処理のため遅れた。今後は2枚予備を用意する。
問 今後は、連絡・報告を密にし、通知を出すなど情報連携を的確にすべきだが、どうか。

業年の8月頃までに保護者の口座に振り込まれる。

部長 数字を出して検討したい。

新型コロナウイルス感染症による影響

問 海水浴場開設がなく、協力をお願いするためにも安全な海岸を守るなどの条例制定は。

町長 条例の議論より、葉山は口コミの町であり、これまでの習慣に頼り、海の関係者等に情報発信をしてもらうことに力を入れたい。

問 海の家もないため、海岸で物品の販売等は行われず、普段の海岸の状態と同じか。

部長 海水浴場設置がなく、占用許可が取れないため店、出店などは設置できない。

問 高齢者の外出支援策に、今だからこそ密にもならないタクシー券補助を行っては。

部長 想定しておらず、研究、課題としたい。
問 葉山は小規模事業者が多く、2波、3波を考えると、息の長い支援が必要と考えるが。

町長 動向を見守った上、策を講じ、一つひとつ見ながら、手が届くよう知恵を回したい。

【就学援助制度】新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変したご家庭へ

印刷ページ表示
更新日：2020年4月30日更新

国東市に住所を有する（居住する）方で、経済的な理由により児童・生徒の小・中学校及び義務教育学校への就学が困難と認められるご家庭に対し、就学に必要な費用の一部を援助しています。
このたびの新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変し、経済的に困窮の方は、まず、お子様が在籍する学校へご相談ください。

就学援助の対象者

1. 生活保護を受けている世帯
2. 生活保護を受けている世帯に準ずると教育委員会が認める世帯

申請方法

通常は、前年度の収入を参考に認定基準に合うか審査をしています。しかし、コロナウイルス感染症で直近の収入に影響が出てお困りのご家庭もあろうかと思えます。そういったご家庭につきましては事情を加味して審査を行いますので、まずはお子様が在籍する学校へお問い合わせください。

期限

令和3年1月15日（金曜日）学校受付分まで

他自治体のお知らせ

※用語の説明は、19ページをご覧ください

イノシシ防護柵の
資材費定額を
計上することは

荒井直彦



町長
審査をクリアした場合は
可能である

イノシシ対策

問 鳥獣対策を取り組む中で、課題の3点の将来の方向性は。解体加工施設については。

町長 衛生管理された設備は、本町では捕獲頭数や設備費用との兼ね合いを鑑みると、事業化は難しいと判断している。

問 焼却炉については。

町長 費用や設置場所、維持管理の労力等の課題も含め調査研究を進める。

問 捕獲効率の向上については。

町長 被害対策実施部隊の方の捕獲技術向上のため、ハード・ソフトの両面から支援を行う。

生活困窮者支援の
相談窓口の設置を

中村和雄



福祉部長
県社協等との連携を
進めながら調査研究を

新型コロナウイルス感染症と町の行政

問 平成30年に、収入が減って生活が苦しい、家賃が払えない等の生活困窮者の自立を支援する法律が改正され、福祉事務所を設置していない町であっても、一時的な相談を実施する場合、国の補助が出るようになった。

新型コロナウイルスの影響はしばらく続く。設置を検討されたい。

部長 町民については、横浜の「ほっとステーション」で対応している。中井町の例もあるが、県社協等との連携・情報共有を保ちながら、調査研究もさらに進めていきたい。

ながら、調査研究もさらに進めていきたい。

コロナによる
中期的な財政予測と
その提示は

飯山直樹



政策財政部長
大規模事業は時間的余裕を
持った対応が必要だ

新型コロナウイルスへの対応

問 長期的な景気の後退による町税収入減少が予測される。先が見通せないため中期財政計画の見直しまではできないが、中期的な財政のシミュレーションとその提示は必要ではないか。

部長 リーマンショック時は4億円以上の減収で、回復に4年ほどを要した経験から、今回は緊急時として事業の優先順位等の精査を行っている。大規模事業については、今後の財政状況を踏まえながら、時間的余裕を持った対応が必要になると想定している。



有害鳥獣の焼却炉

問 もう一步踏み込んで調査・研究すべきと思うが、いかがか。

町長 自身が学びを得ることは、大事だと思っている。持続的にイノシシと向き合う町の姿勢をどう確保すべきか、しっかりと慎重に向き合っていく。

問 令和3年度の被害防止計画を作成する時は必ず、侵入防護柵を入れてもらいたい。

部長 神奈川県、イノシシ管理計画でも位置づけられており、非常に有効な手段だと考えている。

問 国に申請するまでの、今後の進め方は。

部長 農業従事の方々や協議を重ね、設置する場所、距離・個別の計画・図面の作成が必要で鳥獣対策協議会の場でさまざまな調整を行い進めて行きたい。



ほっとステーションの紹介チラシ

問 町内の事業者は、町民の生活と町の経済を支える大事な役割を担っていると思うが、存在意義をどう考えているか。

町長 地域の産業が活性化し、域内で経済が回るというのは、私の理想でもあり、可能性が十分あると考える。このピンチにあたり、アイデアを出しながら、寄与していきたい。

学校給食センターの整備

問 国の法改正による土砂災害に対する規制の強化、災害の頻発・激甚化、長引く新型コロナウイルス禍のもとでの経済の落ち込みによる税収減で、現計画での整備はあり得ないと思うが。

部長 今後発表される経済指標などを基に検討しなければと考えている。

新型コロナウイルスと避難所運営

問 新型コロナウイルスの感染が終息する前に災害が発生したときの避難所運営は。

部長 感染症対策マニュアルを作成した。



新型コロナウイルス感染予防

問 他市ではマスク着用条例制定などの動きがある。夏季における海岸線バスの過密から町民の安全を確保するための対策は。

部長 宣言解除後の対応は未確認。町としては公共交通機関では密を防ぐ、マスク着用を心がけるなど周知を促す。

問 通学バスの感染対策は。

部長 密を防ぐ、マスク着用等、ガイドラインに沿った指導を行っている。

問 事業者支援として家賃補助などではなく、一律10万円としたのは当町事業者の実情に沿った措置か。

町長 フリーランスの方々が多い当町の状況に着目しての判断だ。

問 リモートワーク進行で移住者獲得のチャンスが来る。そのための仕組み整備は。

町長 これを機に体制整備の検討を始めるべきと強く認識している。

給食センターの
根本的な見直しを

近藤昇一



教育部長

延期だけで
見直しは考えていない

学校給食センター

問 給食センターの設計業務委託が、コロナ禍の影響で延期になっている。この際、計画の根本的な見直しを行うべきでは。

部長 延期だけで、見直しは考えていない。

問 議会で、給食センターの供用開始までの間、民間業者を活用し「中学校給食の早期実現を求める決議」を可決した。決議を尊重すれば中学校給食はすでに始まっている。

教育長 長い空白期間があれば、検討する。

問 給食センターの予定地が土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定されている。

生ごみ処理に
竹チップ利用は

山田由美



環境部長

ハードルが高い

生ごみ処理

問 生ごみ分別収集を成功させるには、自家処理の割合を上げることが必要だ。竹を砕いた竹チップを土の代用としてキエーロに入ると、処理が簡便で匂いも少ないという町民からの実験報告がある。生ごみをミキサーにかける手間が必要だが、環境課では実験しているか。黒土との混合効果はどうか。

部長 現地は視察しているが、ミキサー使用はハードルが高い。研究していきたい。

避難所整備

問 感染症の危険を減らすため、個室型の段

複合災害の備えは

土佐洋子



町長

マニュアルの策定など
対策に万全を期す

新たな防災

問 巨大化する自然災害と新型コロナウイルス感染症との複合災害の対策は。

町長 避難所におけるマニュアルを策定し、親戚や友人宅などが避難先の一つとして考えられることを、町民に周知するなど、複合災害の危険性の軽減に向けた対策に万全を期す。

問 危険ブロック塀等撤去事業の拡大は。

町長 新たな防災、複合災害への備えの視点・観点を持って検討したい。

新しい海の生活様式

問 海水浴場が設置されない海での事故や飲



学校給食イメージ

指定解除のための工事工程は。

部長 明確な工程はないが、令和7年までと思っている。

問 盛り土でレッドゾーン解除は必須と考えているのか。

部長 絶対に必要な工事と考える。

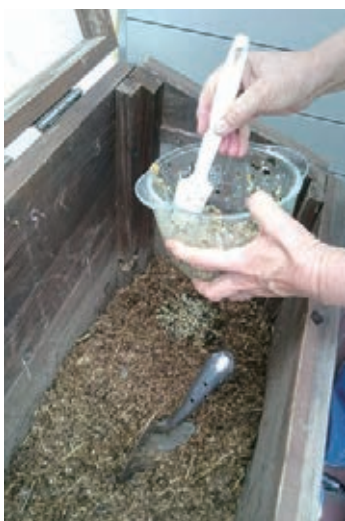
問 県が崖崩れ特別警戒区域指定調査を行っている。予定地の調査を依頼しては。

参事 依頼してもやらないと回答があった。

国民健康保険

問 保険料は、子どもが一人生まれると保険料が2万円引き上がる均等割という料金設定がある。不公平な料金設定で、県内でも中井町、大井町、箱根町、清川村などが子育て支援のため、均等割の減免を行っている。全国でも広がっている。葉山町での考えは。

部長 現在検討していないが、県内の状況を研究しつつ勉強したい。



竹チップ利用のキエーロ

ボールベットの導入を考えてはどうか。

部長 前向きに検討を始めている。

事業の見直し

問 新型コロナによって、生活そのものを見直す必要に迫られている。これまでに決定した事業でも、見直しが必要では。たとえば学校給食センターについて、町民の声を集めてはどうか。町長のタウンミーティングは中止になったが、Zoom会議という方法もある。

町長 難しいが、模索していきたい。

GIGAスクール構想

問 児童・生徒一人ずつが情報端末を持つべき時代となった。使い方について、県内統一構想があるのか。それとも町独自か。

部長 GIGAスクールは文科省推奨であり、県の統一構想はないが、共同調達はあり。

問 先生方から、使い方のご意見などは。

部長 情報教育研究会で検討している。



民間の避難所

酒、ごみの問題が心配だ。どのように海浜の秩序を保つのか。

町長 臨機応変に対応したい。人件費やパトロール、また警戒に必要な物品については葉山を守るために予算を惜しむことなく使う。

学び合い

問 働き方改革と連動させた効率化は。

町長 職員に対し、時差出勤や在宅勤務及びリモートワーク制度等を導入し、勤務体制を分散させるなど、柔軟な対応を図っている。慣習的な業務や効果が少ない業務などを検証し、業務の効率化を推進していく。

問 児童・生徒の学習機会の確保は。

教育長 休業期間中の家庭学習や家庭での過ごし方を指導し、学習支援映像配信プロジェクトチームを立ち上げ、5月末時点で334本の映像配信を行った。教育研究所指導員等による、放課後の学習サポートを検討している。

大規模災害時、
公助として
何が想定できるか

伊藤航平

総務部長
ある程度限界がある

大規模災害多発時対策

問 大規模災害時、課の担当や職員の役割分担と配置、マニュアルはあるか。

部長 災害の規模に応じて職員の招集基準を定めている。地域防災計画では職員の配置は定めてない。それぞれの部署ごとに避難所の運営に当たる。令和元年の台風で開設した避難所では、学校は教育委員会、町内会館等は福祉部が担当した。

問 人事異動があった時に、各課でマニュアルの認識や課の動きを毎回されているのか。

部長 各課単位で、防災・災害対応について

「お悔やみ専門窓口」の
設置を

待寺真司

町長
是非導入したいと思う

新型コロナウイルス対策

問 感染や生活苦による犠牲者、※DV被害や虐待など発生させないよう、臨時交付金や財政調整基金を用い、町民生活を守るべきだ。

町長 生きる権利と最低限度の生活を守ることを最優先に、さまざまな場面で今の生きる力を、しっかりと支えることが何よりも優る。

問 各種相談事業の強化が大切だ。相談窓口の※ワンストップ化、相談場所の充実や「お悔やみ専門窓口」の設置を強く要望するが。

町長 「お悔やみ専門窓口」は是非導入したいと思う。落ち着き次第すぐに打合せを行う。

新型コロナ相談窓口の
設置を

金崎ひさ

福祉部長
問い合わせは
必ず共有している

問 町民が受けた影響の認識とその支援策は。

町長 外出自粛と休校問題、そして、経済界への支えが大切と考えた。

問 職を失った町民もいる。その相談は県民センターへの案内が広報葉山に出ているが、役場でコロナ相談窓口を一本化すべきだが。

部長 他部署と連携し各課で持ち合っている。

問 特別定額給付金申請のための手助けは。

部長 民生委員等からは情報をいただきたい。

問 公共下水道料金の減額の検討は。

部長 18市町共同システムなので、難しい。

問 町長が休業要請をした事業者への補償は。



水害にあった真備町

の研修はできていない。防災安全課中心に避難所開設訓練を実施している。

問 大規模災害時、町民以外が葉山町で災害にあった場合の公助として、何が想定できるか。津波避難や避難所までの道のりは。

部長 公助として想定認識は持っている。具体的に行政が責任を持って何ができるかは、ある程度限界がある。路面誘導シートや標高を示す掲示を周知・広報、物的な物の事前準備と考えている。

問 自助・共助・公助の認識を、職員や町民がしっかりと持ち、自分の判断で行動できる取り組み、宣伝は。

教育長 防災意識を幼い段階から培っていくことが大事で共有したい。

部長 協働で、地域の方々に行政の足りない部分を補っていただく。



別府市の「お悔やみ専門受付」
別府市ホームページより

問 子ども食堂臨時代替事業として、お弁当の配達や持ち帰りを提供する経費に、国の臨時交付金が使われる。民間の知恵と力を借りて、事業の継続と拡充のサポートを求めるが。

町長 葉山の子どもの食堂の姿について、町として出来ることを検討する価値は大いにある。

問 中・小規模事業者への支援策として、厳しい状況が続いた場合、次の手を打つのか。

町長 状況判断が随時必要だ。さまざまな手立ては講じるが、順当に言えば商品券などを活用し、V字回復の時期を持つべきと考える。

ハラスメント対策

問 通称※パワハラ防止法が施行された。絶対に起こしてはいけない教育現場での対策は。

教育長 神戸市の事件ではいろいろと考えさせられた。油断すると起こるので、研修や学校長の面談を通じて教育を徹底させていく。子どもに対しても断固起こしてはいけない。

町長 一切していない。

問 学校給食センター建設への影響は。

部長 令和4年9月の開設は難しい。

問 令和2年度、崖崩れイエローゾーンの調査を県が行っている。調査依頼をしてはどうか。

参事 給食センター予定地は調査しないと県土木から返事がきた。

問 クリーンセンター再整備事業は。

部長 2市1町での実施計画の策定がコロナの影響で遅れている。

問 職員の半数が在宅勤務をしたとのことだが、クリーンセンター職員の状況は。

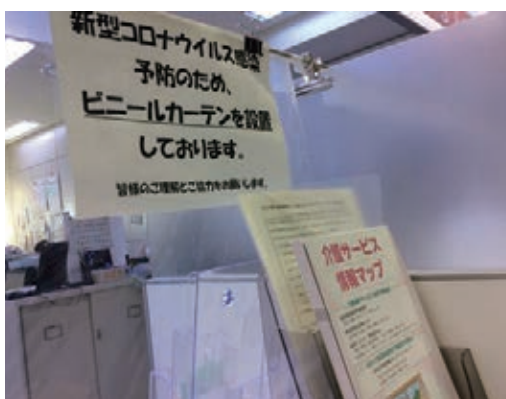
部長 収集担当は全員出勤している。

問 学校からの動画配信の成果は。

教育長 教職員の底力を見た。今後はオンライン授業も発展させたい。

問 「新たな日常」で空家対策事業の充実を。

部長 葉山に合ったスタイルを考えたい。



感染予防のビニールカーテン

※用語の説明は、19ページをご覧ください



プレミアム商品券の
導入時期は

石岡実成

町長

まだしばらく時期ではない

新型コロナウイルス対策

問 プレミアム商品券の活用を検討しているとの事だが、具体的な導入時期は。

町長 商品券を買い求める密や、実際に買い物客があふれる密を避ける必要もあり、まだしばらくは時期でないと考えている。経済活動がそれなりに回る時期が見えた暁に、改めて検討していくつもりだ。

問 持続化給付金とは別に、飲食店をはじめとする被害が大きい店舗への個別支援策は。

町長 行政としては、公平性の観点から等しく給付、一定の条件の中で網かけするべき

町長行政報告

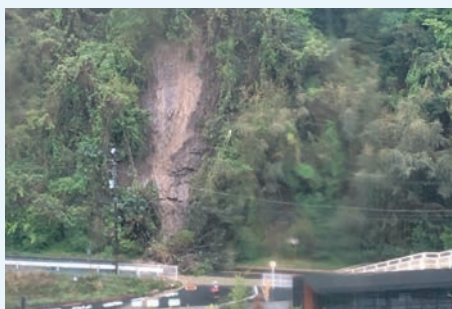
町内で発生した崖崩れへの対応について

第1回臨時会

4月18日午後2時36分頃、長柄の南郷交差点付近の2カ所で崖崩れが発生しました。うち1カ所の町道1号線については、当日中に土砂や樹木の撤去作業を終了しておりますが、再び崩落する危険性があるため現在では通行止めとしています。町としては、通行止めの早期解除に向けて、土地所有者へ速やかに対策をとるよう要請していきます。もう1カ所の森戸川支流蔵ヶ谷川脇については、当日中に撤去作業を終了し、河川の流れは支障なく確保されています。なお、2カ所とも、人身事故等は発生していません。

第2回臨時会

町道1号線の崖崩れにつきましては、防護柵の設置工事が完了し、安全性が確保できたため、5月18日午後に通止めを解除いたしました。



崖崩れがあった南郷交差点付近の現場

新型コロナウイルスへの対応について

第1回臨時会

4月7日に国の緊急事態宣言が発令されながらも、海岸エリアでは多くの観光客や車で混雑し、町民の方々から不安の声が寄せられていたことから、4月9日には鎌倉市、逗子市と連名で県営駐車場の利用制限を要請し、更に、4月22日には海沿いの自治体6市5町の連名で、県に対策を求める要望書を提出いたしました。町としては、大型連休に向け、海岸やハイキングコースへ立入り自粛をお願いする看板を設置するほか、町職員や警備員による海岸の巡回パトロールを実施するなど、町外からの観光客の流入抑制に取り組んでいるところです。

第2回臨時会

県と逗葉医師会が「逗葉PCRセンター」を設置し検査体制の強化を図ることとしました。国民1人あたりに10万円が支給される特別定額給付金については、オンライン申請分は5月15日に、郵送申請分は25日にそれぞれ受付を開始しています。

また、事業者向け支援の町単独の持続化給付金、ひとり親世帯を対象に2万円を支給する「ひとり親世帯臨時特別給付金」については、5月25日より受付を開始しています。





平成27年の葉山プレミアム商品券の案内チラシ

で実現は難しいと考える。

問 コロナ禍での避難所運営を想定して、体育館にクーラーを設置する考えは。

町長 現状では一切検討していない。

問 3密対策で、避難所での収容人数が減少する中、民間の宿泊施設や有料老人ホームなどと提携し、高齢者や避難弱者が優先避難できるような場所を確保するべきでは。

部長 そういった民間施設の活用については喫緊の課題だと認識している。

町の情報管理

問 現状での町の情報漏洩対応策は。

部長 データ消去の際、複数のチェック体制を徹底しているので問題ない。

問 システムの業務継続計画も必要では。

町長 地域防災計画に業務継続計画はあるものの、システムに関するものは無いのでこれからの課題とする。

議員懇談会

町長招集により開催

〔3月25日〕

● 学校給食センター整備方針について

葉山町学校給食センター整備方針は、「葉山町学校給食基本構想」を踏まえつつ、新たな候補地（長柄地区）での整備に係る方針を整理するものであり、学校給食の運営のあり方を取りまとめた「葉山町学校給食基本方針」と連動することで、学校給食のさらなる充実を図ることを目指すとのことでした。同時に3月23日時点での、計画平面図、計画断面図、地質調査結果報告書、土砂災害計画区域等指定図、土石等を遮る塀に係る図面の資料提出がされました。

● 新型コロナウイルス感染症拡大に関する町の対応について

〔6月9日〕

● 第2回定例会追加補正予算案の概要について

● 夏季海水浴場の開設断念について

● 葉山町公共下水道建設改良事業における基準値を超えたヒ素及びセレン検出について

● 新型コロナウイルス感染症におけるこれまでの町の対応・経過についてのまとめ

記 議長 伊東圭介

*「議会だより 141号」用語の説明

- ・ セーフティネット =「安全網」と訳され、網の目のように救済策を張ることで、全体に対して安全や安心を提供する社会保障の一種。
- ・ ルーター =異なるネットワークを相互に接続するネットワーク機器のこと。
- ・ LAN =「ローカルエリアネットワーク(ラン)」建物内等の狭い範囲にあるコンピューターで構成されたネットワークのこと。
- ・ more NOTE =膨大な紙の資料を無くして開設できる会議システムのひとつ。
- ・ Word 互換アプリケーション =Microsoft Office のソフトと互換性を有した別会社のソフトのこと。
- ・ GIGA スクール構想 =義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習用PCと高速ネットワーク環境などを整備する計画。
- ・ Zoom 会議 =複数人での同時参加が可能なソフトのひとつを使用して「ビデオ・Web(インターネット上)で行う会議」のこと。
- ・ ワンストップ =「窓口一元化」、複数の用事を一箇所で済ませられること。
- ・ ハラスメント =嫌がらせ。いじめ。
- ・ DV 被害 =「ドメスティックバイオレンス」、家庭内暴力により身体的または精神的な苦痛を受ける、その被害を指す語。
- ・ パワハラ =「パワーハラスメント」、立場や権力を利用し、社会的な地位が自分より低い人に対して、不当な要求や嫌がらせ、苦痛を与える行為。

表紙説明

令和2年5月、上山口にオープンしたNPO法人葉山風の子「風の子保育園」。

葉山町の待機児童が県内の町村でも突出している中、ようやく前に進みだした保育園の新設計画でした。しかし、市街化調整区域では開発行為自体が困難なため、足踏み状態だった状況を打破するため、議会から県へ特例措置を求める意見書を提出し、県もその要望に応えた形でようやく実現した、待望の保育園です。

今回は、この風の子保育園で行われていたお誕生日会にお邪魔させていただきました。

【6月お誕生日の園児は2人】

鎮守花香ちゃん（2歳）

水谷湧くん（5歳）



風の子保育園外観



インタビューを受ける水谷湧くん



先生に抱っこされる鎮守花香ちゃん

お誕生日会では、園児みんなで歌を歌ったり、インタビュアがいたり、担任の先生からお祝いのコメントや冠と色紙のプレゼントなどがあり、主役の園児をはじめ、先生と子どもたち、みんなで盛り上がっていました。

コロナ禍の中、塞ぎがちな気持ちを吹き飛ばしてくれるような、元氣いっぱい笑顔と歌声が本場に可愛らしく、エネルギーを沢山もらって帰って来ました。

次回定例会は...

9/10-10/15 の予定です。

議案審議	一般質問	各常任委員会	決算特別委員会
9/10(木)	10/12(月)	10/1(木)	9/18(金)
10/12(月)	10/13(火)	10/2(金)	9/23(水)
	10/14(水)	10/6(火)	9/24(木)
			9/25(金)
			9/28(月)
			9/30(水)
総括質問	総合計画委員会		
9/16(水)	10/5(月)		
9/17(木)			

定例会のスケジュールは変更になる可能性があります。また、一般質問は、質問者数によって日程が変動します。詳しくは議会ホームページにてご確認ください。



※新型コロナウイルス感染症対策として、本会議場及び委員会室での傍聴を調整・制限させて頂いております。ご理解ご協力をお願いします。

議会本会議のライブ中継が、スマートフォン、タブレットでも視聴できるようになりました!!

議会本会議のライブ映像・録画動画が、いつでも、どこでも見られるようになりました。この機会に、是非、一度ご覧になってください。



録音版議会だより

議会だよりは音声データを作成しています。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

議会の最新情報は…ホームページをご覧ください!! <https://www.town.hayama.lg.jp/gikai/>

編集後記

1月上旬「中国武漢市で原因不明の肺炎患者多発」という報道から、その後、新型コロナウイルスが世界を大きく揺るがし、誰しもの暮らしにさまざまな制約や変化が強いられました。未だワクチンや治療薬がない中、2波、3波を防ぎ備える生活を送らざるを得ません。葉山町議会でも感染拡大防止のため、議席変更、傍聴者への配慮、広報編集作業も変化しました。少しずつ日常へと近づき、感染防止策を可能な限り尽くし、学校が再開しました。自宅では感染予防の生活を送ってきた子どもたち学校では40人学級もあり、保護者の方からは不安の声が上がっています。少人数学級はコロナ対策にも繋がります。

毎年、議会に「国に対し義務教育費国庫負担の復元を求める意見書提出の請願」が上がり、今年も全議員賛同のもと、教育環境改善を求め国に意見書をあげました。

皆さまの暮らしを支え、子どもたちの学びを保障するためにも、議員一同活動して参ります。

7月11日 窪田美樹 記

議長 伊東 圭介

議会広報常任委員会

石岡 実成 伊藤 航平
中村 和雄 荒井 直彦
笠原 俊一 土佐 洋子
窪田 美樹